

BUSINESS REPORT

第80期報告書 2022年4月1日>>>2023年3月31日

株式会社村上開明堂

証券コード：7292

私たちは、社業を通じて 「人の役に立つ」村上開明堂を 目指します。

「もの」に込める“技術”と“思い”、
企業活動を通じて「絆」を結び、
社会に「幸せ」を提供し、輝く未来をつくります。

社 是

健康

健全な精神は
健康な体に育まれる。
会社の発展も、社会への奉仕も、
個人生活の安定もすべて
健康であることから
はじまる。

信頼

おたがいに信頼し合うことが
すべての根本である。
礼儀正しく、相手の立場を
理解して確実な仕事をしよう。
そこから信頼が生まれる。
常に業務の改善と自己啓発を
心がけよう。向上もまた
信頼につながる。

親和

仲良く明るい職場を
誇りましょう。
ルールと秩序を守り、
感謝と反省を忘れずに
集団の中で個性を活かす
工夫と努力を重ね、
仕事を通して個人の理想
をも成しとげよう。

ミラーシステム事業

自動車用バックミラーは、コンパクトなボディに薄膜・機構・電気系といった多様な技術で構成されています。この複合システムを一貫体制で自社開発・設計・生産している専門メーカーは世界でも稀で、当社はその先駆けといえます。ミラーに特化した専門技術と、次世代ミラーを実現する開発力で、国内の主要自動車メーカー各社から信頼をいただいています。近年では海外展開に注力しており、国内シェアNo.1から世界トップメーカーへの飛躍を目指しています。

オプトロニクス事業

高精度の光学薄膜技術をはじめ、ミラーシステム事業で培った多様な技術力を活かして、より幅広い分野にアプローチするオプトロニクス事業。OA機器に組み込まれる高反射ミラーや、映像機器に用いるダイクロイックミラー、自動車のヘッドアップディスプレイに組み込まれる曲面ガラスミラーなど、多様な機能を持つミラー・フィルター類を中心とした光学機器用部品の製造を行なっています。ミラーシステムと同様、開発から生産までの一貫体制を強みとして、お客様の要望に合わせた柔軟な提案力で対応します。

その他事業

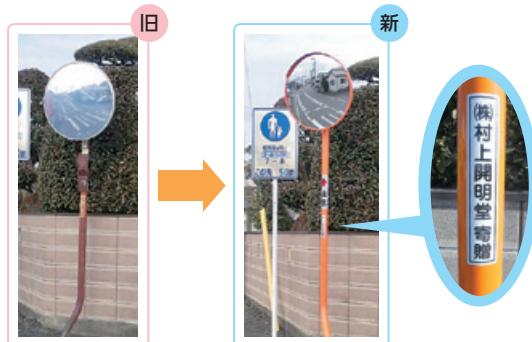
樹脂原料販売、物流・運送、人材派遣など、お客様のニーズに応じて多様な事業を関連会社で展開。これからも各事業のネットワーク網を拡充し、グローバルカンパニー・村上開明堂を支えていきます。

トピックス

～カーブミラー 3市に寄贈～

140周年記念の地域貢献活動の一環として、当社が操業拠点としている3つの自治体、静岡市、藤枝市、焼津市に、地域の交通安全向上の願いを込め、カーブミラーを寄贈しました。市民の皆様から、「危ないのでカーブミラーを設置してほしい」、「カーブミラーが老朽化して見えにくい」などの要望があったため、有効活用していただいていると思います。各自治体からは「市民が安心して暮らせるまちづくりに役立っていただきました」などのお礼の言葉をいただきました。

当社はこれからも経営理念の『人の役に立つ』のもと、地域貢献活動を積極的に行ってまいります。



社長ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜わり厚くお礼申しあげます。

さて、当社第80期（2022年4月1日から2023年3月31日まで）の事業の概況につきまして、ここにご報告申し上げます。

当期の経営成績

当連結会計年度は、各国において新型コロナウイルスの行動制限が緩和され経済の回復が進みました。一方、ロシアのウクライナ侵攻等にもとない、原材料・エネルギー価格の高騰、部品の供給不足、物流の停滞等、サプライチェーンの問題が拡大しました。世界各国ではインフレが加速し、欧米を中心に景気の減速感が強まるなど、不透明感の高い状況が続きました。

主要取引先である自動車業界においては、堅調な需要を背景に大幅な増産も期待されましたが、世界的な半導体不足や中国ロックダウン等の影響を受け、前年から引き続き減産調整が頻発しました。

このような状況の中、当社グループでは受注変動に柔軟に対応し、世界各地のお客様への安定供給を確実に果たしながら、徹底した費用の抑制と中長期も見据えた収益構造改革に注力いたしました。

また、2022年4月1日に群馬県の株式会社大嶋電機製作所を買収し、自動車用バックミラー及びランプの製造販売を行う子会社：株式会社村上開明堂東日本として、順調に稼働を開始いたしました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は90,643百万円となりました。

また、営業利益は5,584百万円、経常利益は6,419百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は5,370百万円となりました。

期末配当金につきましては、1株につき40円とさせていただきます。この結果、年間配当金は1株につき84円となります。

次期の見通し

今後の見通しにつきましては、経済回復が進むことで、自動車の減産調整は2023年度後半にかけて徐々に解消するものと考えられます。一方、原材料やエネルギー価格の高騰、インフレ等による世界的な景気減速や円安ドル高の定着、ウクライナ情勢や米中対立をはじめとする地政学的な変化への懸念もあり、引き続き不安定な経済環境が続くことが予想されます。自動車業界におきましては、C A S E（コネクティッド、自動運転、

シェアリング、電動化）と呼ばれる次世代技術開発や世界的に進む環境規制強化への取り組みが今後、一層加速することが見込まれます。

このような事業環境の変化に対し、当社グループでは、設計・生産技術の改革、グループ内外での世界最適調達・最適生産やDX、IT技術の活用等による製造部門・間接部門の生産性向上を強力に推進し、収益力の向上と市場地位の確立を目指してまいります。

また、連結子会社化した株式会社村上開明堂東日本では、生産性向上活動の強化および同地域での営業活動を活発化し、収益基盤強化を図ってまいります。

高付加価値新製品や新規事業の創出につきましては、商品企画機能を強化するとともに、外部技術の活用や他社との協業・提携等も視野に入れた投資を行なうことで、早期実現を果たし、持続的成長を目指してまいります。

連結業績予想につきましては、バックミラー販売の増加等により、売上高100,000百万円、営業利益は6,500百万円、経常利益は7,200百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は4,500百万円を予想しております。為替レートにつきましては、1ドル133円を想定しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2023年6月



代表取締役社長 **村上太郎**

グローバルネットワーク

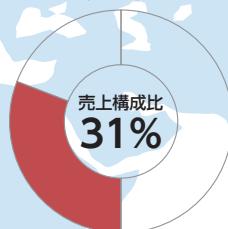
MURAKAMI MANUFACTURING
INDIA PRIVATE LTD.



株式会社村上開明堂九州
株式会社村上開明堂化成
株式会社エイジー
株式会社村上エキスプレス
株式会社村上開明堂東日本
株式会社村上開明堂ビジネスサービス

Murakami Germany GmbH

アジア



MURAKAMI AMPAS
(THAILAND) CO.,LTD.



Murakami Manufacturing
(Thailand) Co.,Ltd.



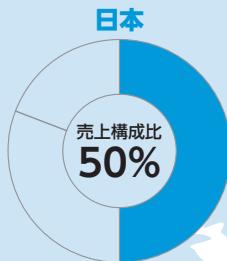
Murakami Mold
Engineering (Thailand)
Co.,Ltd.



Murakami
Corporation
(Thailand) Ltd.



PT.Murakami Delloyd
Indonesia



本社
(静岡市)



東京事務所
(東京都千代田区)



築地工場 (藤枝市)



藤枝工場 (藤枝市)



大井川工場 (藤枝市)



嘉興村上汽車配件有限公司



佛山村上汽車配件有限公司



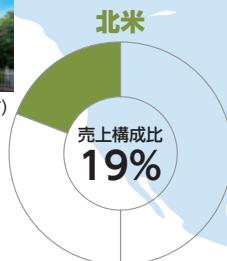
天津村上汽車配件
有限公司



Murakami Manufacturing
Mexico, S.A. de C.V.



Murakami Manufacturing
U.S.A.Inc.



日本

半導体部品不足等に起因する自動車メーカーの減産影響を受けたものの、第1四半期より株式会社村上開明堂東日本を子会社化したことにより自動車用バックミラー等の販売が増加し、売上高は前連結会計年度に比べて9,348百万円(26.0%)増加し、45,298百万円となりました。営業利益は、材料費比率の上昇、電力料、物流費の増加等の影響により1,563百万円となり、前連結会計年度に比べて302百万円(16.2%)の減少となりました。

アジア

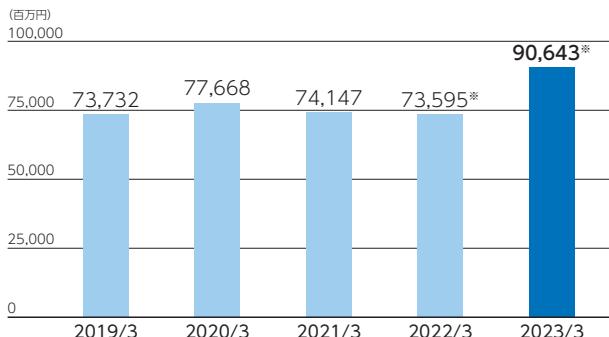
中国・タイ・インドネシアにおいて、自動車用バックミラーの販売数量が増加し、売上高は前連結会計年度に比べて6,035百万円(27.9%)増加し、27,683百万円となりました。営業利益は、中国拠点でのロックダウンによる輸送費増加等の影響を受けたものの、アセアン拠点の収益が好調に推移したことにより3,127百万円となり、前連結会計年度に比べて612百万円(24.4%)の増加となりました。

北米

米国及びメキシコにおける半導体部品不足等に起因する自動車メーカーの減産の影響により、自動車用バックミラーの販売数量は減少したものの、為替換算の影響等により、売上高は前連結会計年度に比べて1,663百万円(10.4%)増加し、17,660百万円となりました。営業利益は、材料価格や物流費の高騰等の影響がありましたが、為替換算の影響等により329百万円となり、前連結会計年度に比べて65百万円(24.6%)の増加となりました。

売上高

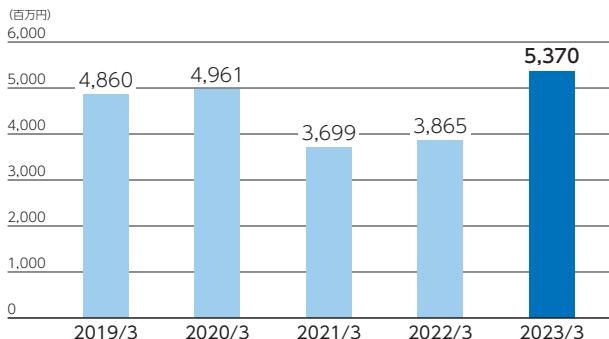
※収益認識に関する会計基準等を適用



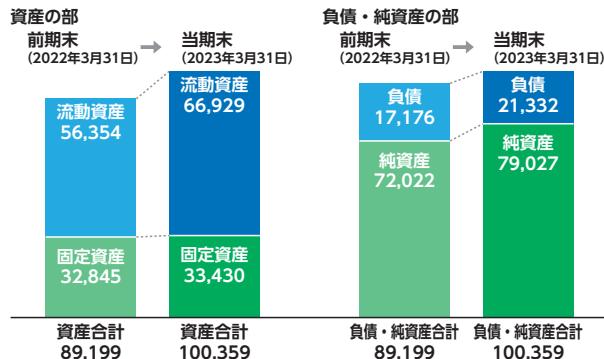
経常利益



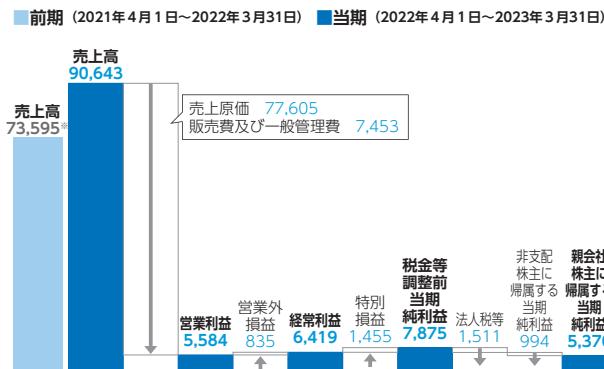
親会社株主に帰属する当期純利益



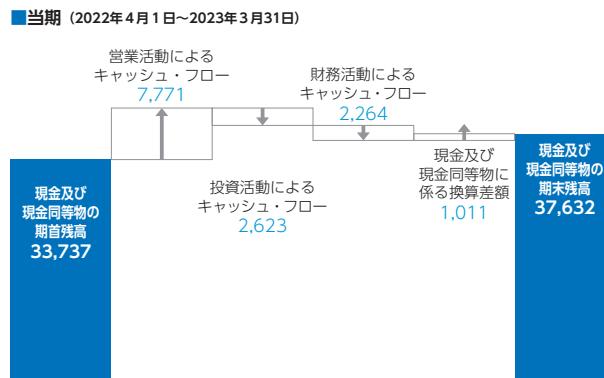
連結貸借対照表 (百万円)



連結損益計算書 (百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)



会社概要

商号 株式会社村上開明堂
 設立 1948年3月27日
 資本金 3,165,445,000円
 発行済株式総数 13,100,000株

事業内容 自動車用バックミラー、
 ファインガラスの製造
 及び販売
 従業員数 連結：3,501名
 単体：953名

役員 (2023年6月23日現在)

取締役

取締役社長 (代表取締役) 村上 太郎
 常務取締役 長谷川 猛
 常務取締役 杉 達 弥
 取締役 平 沢 方 秀
 取締役 服 部 有
 取締役 飯 塚 利 恵 子
 取締役 糟 谷 篤
 取締役 松 田 裕 昭
 ※取締役 岩 崎 清 悟
 ※取締役 力 石 晃 一
 ※取締役 足 羽 由 美 子
 ※取締役 後 藤 康 雄

(注) ※印の取締役は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。

監査役

監査役 増 井 邦 夫
 (常勤)
 ※監査役 櫻 井 透
 ※監査役 興 津 哲 雄

(注) ※印の監査役は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

執行役員

常務執行役員 吉 永 晃
 常務執行役員 島 村 昌 宏

執行役員 星 野 立 法
 執行役員 増 田 達 寿
 執行役員 青 島 祥 訓
 執行役員 小 松 徹
 執行役員 池 谷 義 信
 執行役員 赤 山 泰 規

主要な営業所及び工場

本社：静岡県静岡市
 東京事務所：東京都千代田区
 群馬事務所：群馬県太田市

築地工場：静岡県藤枝市
 藤枝工場：静岡県藤枝市
 大井川工場：静岡県藤枝市

関係会社

国内

株式会社村上開明堂九州
 株式会社村上開明堂化成
 株式会社エイジー
 株式会社村上エキスプレス
 株式会社村上開明堂東日本
 株式会社村上開明堂
 ビジネスサービス

海外

Murakami Manufacturing U.S.A.Inc.
 Murakami Manufacturing Mexico, S.A. de C.V.
 嘉興村上汽車配件有限公司
 佛山村上汽車配件有限公司
 天津村上汽車配件有限公司
 Murakami Manufacturing(Thailand)Co.,Ltd.
 MURAKAMI AMPAS(THAILAND)CO.,LTD.
 Murakami Mold Engineering (Thailand)Co.,Ltd.
 Murakami Corporation(Thailand)Ltd.
 PT.Murakami Delloyd Indonesia
 MURAKAMI MANUFACTURING INDIA PRIVATE LTD.
 Murakami Germany GmbH

株式情報

発行可能株式総数…………… 29,900,000株
 発行済株式の総数…………… 13,100,000株
 株主数…………… 1,368名

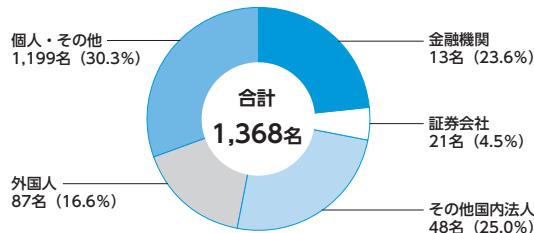
大株主

株主名	持株数(千株)	出資比率(%)
株式会社豊英社	1,860	15.3
村上太郎	1,443	11.8
ビービーエイチ フォー ファイデリティ ロー プライスド ストック ファンド (プリンシパル オール セクター サポートフォリオ)	846	6.9
株式会社三菱UFJ銀行	604	4.9
立花証券株式会社	523	4.3
株式会社中島屋ホテルズ	460	3.7
株式会社静岡銀行	459	3.7
東京中小企業投資育成株式会社	402	3.3
明治安田生命保険相互会社	347	2.8
スルガ銀行株式会社	337	2.7

(注) 1. 表示単位未満を切り捨てて表示しております。
 2. 出資比率は、自己株式942,704株を控除して計算しております。
 3. 当社は自己株式942,704株を保有しておりますが、上記「大株主」から除いております。

株式分布状況

<所有者別>



(注) () 内の数値及びグラフは所有株式数の構成比率を表しています。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日
その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。

公告の方法 電子公告の方法により、当社ホームページに掲載いたします。
<https://www.murakami-kaimeido.co.jp/usIr/koukoku>
ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

特別口座の
口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先
(電話照会先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行なっております。

単元未満株式をご所有の株主様へ

株主様がご所有の当社単元未満株式（1～99株）につきましては、当社に対し買取・買増をご請求することができます。お手続き用紙のご請求その他お手続きの詳細は、下記お問合せ先までご連絡ください。

証券会社等に 口座をお持ちの場合	特別口座の場合
口座を開設されている 証券会社等	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 (0120) 782-031(フリーダイヤル)



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

